

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

① 山口市本町1-1-25
(白石地域交流センター内)
② 083-941-5959
③ <https://y-shiraishi.net>



JR 山口駅 [撮影 / 高橋まゆみ]

2025年12月1日号 Vol. 149

参加者
募集

SL「やまぐち」号に 向かって手を振ろう

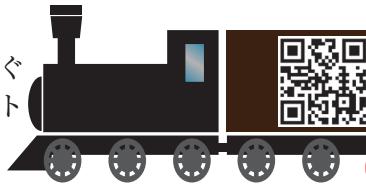
入場券
不要

お菓子
80名様へ
プレゼント

日 時 12月21日(日) 11:15頃着⇒11:17発

場 所 JR山口駅ホーム

※運行状況は、SLやまぐ
ち号公式ウェブサイト
をご確認ください。



今年も
大勢のサンタが
おもてなし!!



実 「やまぐちえき」応援イベント

参加者
募集

小中学校交流イベント「逃走中」



日 時 12月20日(土) 8:30～11:30

場 所 白石小学校グラウンド

テレビでもおなじみの「逃走中」を今年も開催! 小学生がハンターに捕まらないよう、グラウンド内を逃げ回ります。ハンターの追加や逃走者の再解放など、スリル満点のミッションも登場!

実 小中学校交流イベント「逃走中」(白石小・中学校おやじの会)

持参物

飲み物、タオル、
動きやすい服装、防寒着

対象

白石地区在住小・中学生
小学生…逃走者
中学生…ボランティア
(運営の補助、ハンター役)

締切

12月12日(金)まで

申込先

以下専用申込フォーム



白石地区在住

小学生のみ
(逃走者)

中学生のみ
(ボランティア)



参加者
募集

第4回

チャレンジ健康づくり ラジオ体操＆脳トレ講座

要申込

～あなたの知らないラジオ体操の世界!
転倒防止も若返りもお任せあれ!～

講師 吉野 信郎 氏

テーマ 転倒を防止し、10才若返る体づくりにチャレンジ!



日 時 12月20日(土) 10:00～11:30

場 所 白石地域交流センター 講堂(2階)

申込先 白石地区地域づくり協議会 941-5959

実 チャレンジ健康づくり(弊会の社会体育部会[白石地区スポーツ協会常任理事]と福祉部会員で構成)

※ 誌面中に登場する実は、実行委員会を意味しています。活動にご興味のある方は、弊会までお気軽にご連絡ください。



生涯骨太クッキングを開催しました!

10月17日に開催しました生涯骨太クッキングに11名の方が参加されました。

フレイル予防に効果的とされるカルシウムやビタミンD、タンパク質などの栄養素が入った2種類のトーストや具だくさんミルクスープ等を、食推さんの丁寧な指導の下、楽しく料理することができました。(平川 記)



実 健康食のおススメ



山口駅でプレキャンペーン開催

「山口DCプレキャンペーン」として、山口駅でちょうちんを手にレトロ調衣装で、全国からお越しいただいた多数の旅行業者やメディアの方々をお出迎えしました。

保育園の子どもたちの可愛い声掛けに、皆さんも笑顔でした。(辻田 記)



実 「やまぐちえき」応援イベント



自助・共助を学び、避難誘導を確認 白石地区で防災図上訓練を実施



講師に山崎隆弘氏を迎え、南海トラフ地震を想定した災害図上訓練を行いました。

「自助(自らの命を守る行動、家族の安否確認)」と「共助(近所の助け合い、避難行動要支援者への対応)」を学び、6グループに分かれて避難誘導経路や危険箇所などを確認しました。

来年3月の地区合同防災訓練へ向け、意識を高める機会となりました。(実行委員長 柳井 記)



実 自主防災活動参加促進



第2回 ノルディックウォーキング講座を開催しました!

チャレンジ健康づくり

第2回のチャレンジ健康づくりでは、ノルディックポールを使ったノルディックウォーキング講座を開催しました。

講座では、講師の杉田先生からウォーキングだけでなくポールを使ったストレッチなど、幅広い活用法を教えていただきました。ノルディックポールを使ったウォーキング実践では、ポールを使用することで全身の筋肉を使うことや、歩行時の姿勢が良くなっていることが実感できました。(平川 記)



実 チャレンジ健康づくり



SLを笑顔でお出迎え

山口駅ロータリーを清掃

JR山口駅ロータリー周辺の清掃を行いました。その後、SLを手振りでお出迎えしました。

奇麗になった駅を皆様、ご利用ください。

(清掃作業にご協力ありがとうございました! 辻田 記)



白石地区地域づくり協議会会長杯

グラウンド・ゴルフ大会を開催

秋空の下、ホールインワン12本!

皆さんの日頃の練習の成果が出た大会でした。

(早朝からグラウンド整備ありがとうございました。辻田 記)



スコア		
1 優勝	仲子 寿利	58
2 準優勝	矢次 孝多郎	58
3 第3位	松岡 途勝	62
女子の部		
1 優勝(総合優勝)	野村 卓子	53
2 準優勝	篠原 俊子	64
3 第3位	小田 弥生	65
男子の部		



実 グラウンドゴルフ参加促進

ご報告

ご当地写真展を開催しました！

J R山口駅待合室にて10月1日から11月3日まで、「山口・人とまちの物語」と題してご当地写真展を開催しました。

大正時代や昭和時代当時の山口駅やサビエル記念聖堂、商店街等の白石地区の貴重な写真や、白石地区住民の方々が撮影した現代の山口県の写真などが展示されました。

写真を提供された方々、ご協力誠にありがとうございました。（平川 記）



「在りし日の山口サビエル記念聖堂」



「山口七夕ちょうちんまつり」

実 「やまぐちえき」応援イベント

ご報告
11/6木

白石小1年生との多世代交流会

むかし遊び交流会を開催しました！



できたよ！

白石小学校1年生と地域のミドル・シニア世代の皆さんとが『むかし遊び』を通じて交流しました。あちこちの会場で、子どもたちの元気いっぱいの笑顔が弾けました。できるようになると、「見て！」とうれしそうに見せてくれる姿もありました。終始賑やかな雰囲気に包まれ、昔ながらの遊びを通して、世代を超えたあたかなふれあいの時間となりました。（高橋 記）

ご報告
10/15水

「夢・お願事短冊」を奉納・祈願しました！

8月6日に開催された山口七夕ちょうちんまつりにおいて、子どもたちが思いを込めていたためた夢・お願事短冊138枚を八坂神社に奉納・祈願いたしました。たくさんのご参加、誠にありがとうございました。（平川 記）



実 ふるさとまつり参加促進

フォロー
歓迎!!

Follow Me! フォロー ミー

ウェブサイト

Website

▶ <https://y-shiraishi.net/>

広報誌や各種申請用紙等が
ダウンロードできます。



おはじき



コマ回し

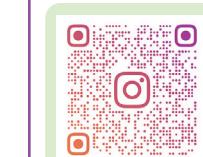
あやとり



けん玉

竹とんぼ

実 むかし遊び



Instagram

▶ <https://www.instagram.com/shiraishichiiki/>

各種イベント開催情報などを
お知らせしています。



Facebook

▶ <https://www.facebook.com/shirachidu/>

各種イベント開催情報などを
お知らせしています。

山口の歴史よもやま話 古賀信幸

第27回 山口と大内氏16－洞春寺と観音寺

前回に続き、洞春寺境内にある大内氏ゆかりの文化財を紹介します。山門の横を通って奥へ進み、本堂の手前で左を向くと、重要文化財の観音堂（左下の画像）があります。

この建物は、兄弟の持世との家督をめぐる戦により豊前国篠崎（今の北九州市小倉北区）で亡くなる大内持盛を開基、龍岡玄珠（京都南禅寺の住職などを務めた高僧）を開山として、今の滝町に創建された観音寺の仏殿です。観音寺はのちに勝音寺、江戸時代になると毛利熙元（元就の曾祖父）の菩提所となり、大通院と改称されました。明治時代の初めに廃寺となり、仏殿の痛みもひどくなつたため、大正4年（西暦1915年）現在地に移築されました。

建物の規模は、桁行三間（7.97m）、梁間三間（7.51m）です。一重裳階（軒下壁面に取り付けた庇状の構造



重要文化財 洞春寺観音堂

物）付の建物で、屋根は入母屋造り、現在は銅板葺きです。建物内の床は、四半敷（縁に対して目地が45度になる）の手法で、瓦（博）が敷かれています。

奥（右下の画像）を見ますと、左手から国清寺開基の大内盛見、観音寺開基の大内持盛、香積寺開基の大内義弘の坐像があり、中央の須弥壇および岩屋造りの厨子をはさんで、右手には香積寺開山の石屏子介禪師、観音寺開山の龍岡玄珠禪師の坐像などが安置されています。

県が運営するWebサイト「山口県の文化財」によりますと、前回紹介した山門の建築年代は国清寺創建（応永7年〔1400〕）の頃、観音堂は永享2年（1430）と紹介しています。これは嘉吉2年（1442）頃の完成とされる国宝瑠璃光寺五重塔よりも古く、市内に残る大内氏ゆかりの建造物として、とても貴重な遺構と言えます。



観音堂内部の様子

ご報告
10/25

歴史探訪『特別記念講演会』開催 「唯一の皇族系大名 公爵毛利家」

前毛利博物館館長 小山 良昌 氏



前回で勇退された小山先生をお迎えし、特別記念講演が行われました。明治以降の毛利家を中心とした、歴史書だけではなかなか知ることのできないお話の数々に、参加者の皆さんは最後まで興味深く耳を傾けていました。資料スライドが映らないハプニングもありましたが、結果として先生の穏やかな語りをじっくり堪能できる時間となりました。講演後には多くの方が先生にお礼や挨拶をされ、長年のご講話への感謝と敬愛の気持ちがあふれるひとときとなりました。

（小山先生の笑顔撮れました… 藤本 記）

